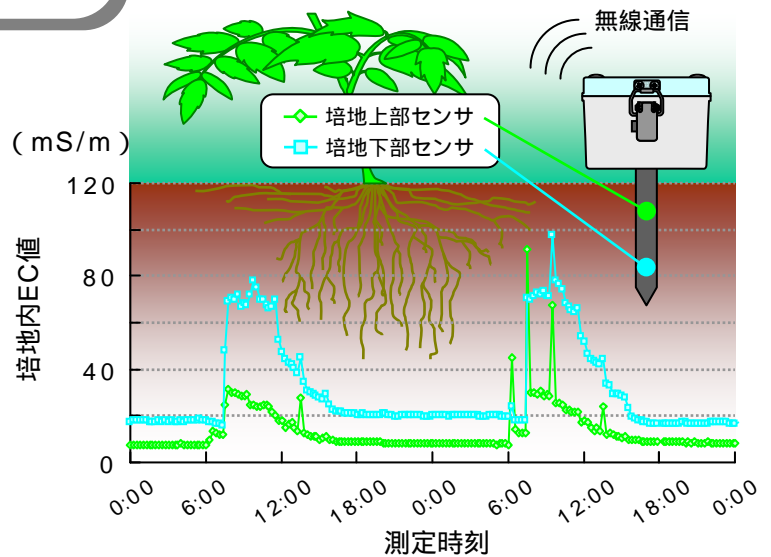
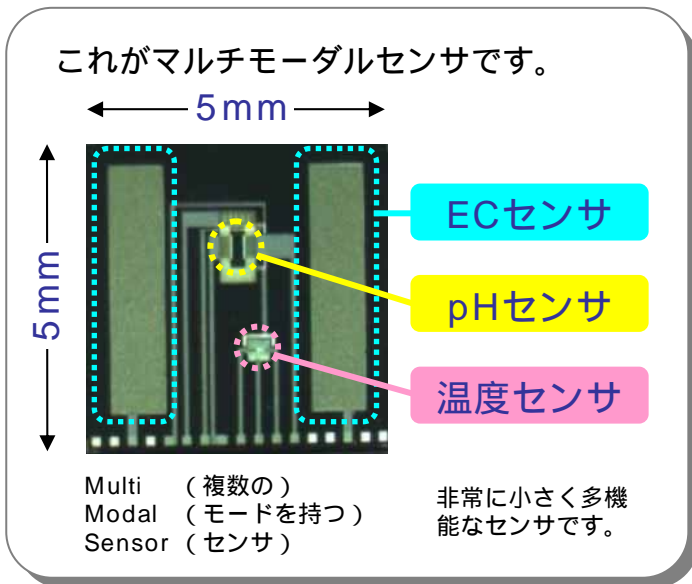


## マルチモーダルセンサで培地のすみずみまでお見通し



この研究は地域イノベーション創出研究開発事業(経済産業省)により、日本オペレーター(株)、豊橋技科大、(株)ファルコンと共同で実施しました。

精密な管理を必要とする施設園芸では、培地内の温度、肥料濃度(EC)、pHを把握することが重要です。今までは多数のセンサを埋め込んだり、サンプルを採取しなければ計測できませんでした。そこで、それらを同時計測できるマルチモーダルセンサと計測したデータを無線で自動収

集できる装置を共同開発しました。この装置は深さ別に培地状態を捉えることができ、複数の装置を使えば培地全体の状態を把握できます。今後、装置のコンパクト化、土壌水分等の測定を追加することによって、実用的な精密管理技術を開発していく予定です。(園芸研究部)